

平成28年度 カリキュラム委員会（第4回）議事要旨

- 日時：平成28年11月18日（金） 15:00～15:50
- 場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室
- 出席者：委員長 藤本（共通教育実施推進部長）
委員 佐藤（機構長）、窪田（全学教育企画開発部長）、増澤（教育学習支援部長）、斎藤（文）、竹村（言(外)）、坂元（法）、山本（経）、宮地（理）、阪口（理・佐藤(透)代理）、宮崎（理）、廣野（理）、金子（理）、南方（工）、若家（基）、木村（言）、ヨコタ村上（言）、三宅（言）、松本（言）、松繁（国公）、大谷（国セ）、宮久保（博）、安福（サ・阿部代理）、森（全教）、坂東（全教）、山口（全教）、堀（全教・坂尻代理）、井原（インカレ）
オブザーバー 井上（医保・梅下代理）
- 欠席者：委員 堂山（文）、青野（人）、野村（人）、坂口（法）、椎葉（経）、古屋（理）、和佐（医）、佐藤(宏)（医）、中村(涉)（歯）、中川（晋）（薬）、下平（基）、進藤（言）、西田（保セ）、清川（サ）、宇野（全教）、小松（全教）、中村（全教）
- 陪席者：異事務長、脇坂事務長補佐、児玉教務係長、森田専門職員、藤田教務係主任

議事に先立ち委員長から、本委員である全学教育推進機構 中村 征樹 准教授について、平成28年10月1日～平成29年3月31日までサバティカル制度適用中のため委員会に係る業務が免除されており、中村准教授に係る負担については全学教育推進機構で対応する旨説明があった。

次に、委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料2）の確認があった。

議 題：

報告事項

1. 平成29年度全学共通教育学年暦について（資料3）

委員長から、資料3に基づき報告があった。

なお、「年間スケジュール」については、平成29年度はセメスター科目が大多数であるという予定を踏まえて作成したものであることから、セメスター科目とターム科目における履修取消日等をわかりやすく表記するため、「年間スケジュール」を作成し直し、次回の本委員会に附議する旨併せて報告があった。

2. 平成28年度第1学期成績結果の誤記入等に関する申立て状況とその対応について（資料4）

委員長から、資料4に基づき報告があった。

続いて、平成28年度第1学期成績結果の誤記入等に関する申立て受付件数60件のうち、16件（約26%）の成績訂正があったことに対して、12件が単純なミスであること及びここ数年の数値が横ばいであることが報告され、成績結果の誤記入等を未然に防止するため、引き続き点検作業・入力確認を十分に行っていただくよう各部局の関係教員に周知いただきたい旨発言があった。

協議事項

1. 平成29年度開講授業科目等について（資料5）

委員長から、資料5に基づき以下の説明があり、審議の結果、承認された。

- ・資料は前回（9月16日）本委員会です承された担当部局、開講曜日・時限、コマ数等に基づき各部局に担当教員の選出を依頼し、回答を取りまとめたものであり、各部局から変更等の回答があった箇所は反映されている。
- ・第1外国語（外国語学部以外）において、「英語によるプレゼンテーション力の強化」を目標として、現行の「実践英語（上級）」「専門英語基礎（上級）」などを廃し、開講コマ数の増減はなく「英語（Speaking）」や「英語上級（Speaking）」の科目に係る配当学部を広げ開講することを認めることとする。
- ・第1外国語（外国語学部）において、非常勤講師に係る予算削減の影響から、クラス数の見直し等について検討中であり、その結果を受けて、次回の本委員会に再度諮ることとする。
- ・第2外国語、国際教養2、選択外国語において、非常勤講師に係る予算削減の影響から、履修者数の推移を検討し10クラスの削減を行うことを認めることとする。
- ・先端教養科目は、次年度は7クラス増加する予定である。ただし、うち1科目の「共生社会とアクセシビリティ」については、開講部局の他の科目の担当状況と本務の事情により、先端教養の開講指定枠外（木5）での開講を認めることとする。
- ・ターム科目として、先端教養科目が2科目と基礎セミナーが1科目の開講申請がある。通常の曜日時限で週2回開講する自由科目の基礎セミナーについては、開講部局に対し他の授業科目との重複の可能性があることを留意事項として通知しターム科目での開講を認めることとする。
- ・集中講義の科目について、各学期の期間のみで行われる場合は、それぞれの学期のターム科目として開講を認めることとする。

なお、専門基礎教育科目「基礎無機化学」、「基礎有機化学」、「図学A」において、事情によりクラスを削減したい旨の要請があったことについては、それぞれの該当する科目について関係者間で調整中であり、その結果を受け、次回の本委員会に再度諮ることが報告された。

また、委員長から以下の要請があった。

- ・現代教養「経済現象を読み解く」について、新たに3科目が英語での開講を希望しており、グローバル化の流れから開講を認めるものであるが、春夏学期の月曜5限開講の科目については、日本語での授業を希望する学生にとって選択肢が少なくなる恐れがあることから、現在他の曜日時限で開講を予定している現代教養科目において、移動を検討いただける科目があればお願いしたい。
- ・基礎セミナーについては、現時点では開講予定数が今年度よりも大幅に減少しているため、提出漏れ等がないか、各部局で再度確認いただきたい。

2. シラバスの入力スケジュールについて（資料6）

委員長から、資料6に基づき以下の説明があり、審議の結果、承認された。

- ・シラバスの入力はWEB上（KOAN）で行う。なお、任用前の非常勤講師などはシラバス入力期間中にログインできないことから、全学教育推進機構の教務係

から該当する者へExcelファイルの送付等を行い、指定の項目を入力していただき同教務係宛に提出いただきたい。

- ・シラバスの入力スケジュールについては、12月中旬にシラバス作成の依頼を行い、KOANの入力期間は12月19日～来年1月19日までを予定している。
- ・教育改革推進会議からの要請に応じて、平成29年度の入力目標（和文100%、英文50%）を達成するため、次回の本委員会で作成方針を定めるものとし、併せて、教育学習支援部所属の教員から、「シラバスの作成方法」「英語版シラバスの入力」等に関する説明をいただくことを予定している。

3. 平成28年度授業担当教員の非常勤講師への交代について（資料7）

委員長から、資料7に基づき以下の説明があり、審議の結果、承認された。

- ・授業担当教員が急病のため、担当部局である外国語学部から今年度のみ当該授業担当教員について非常勤講師で行い、その雇用に係る経費を部局経費で行うことを許可いただきたい旨の申請をうけたものである。
- ・教養教育の科目小委員会にて当該非常勤講師に係る資格予備審査を行ったうえで、特段の支障等がなければ、本委員会としてはその審査結果をもって交代を承認するものとし、当該授業を実施いただくこととする。
- ・次回の本委員会で追認という形で当該非常勤講師に係る資格審査及び授業担当教員の変更について附議させていただく。

4. 平成28年度授業担当教員等の変更について（資料8）

委員長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

5. 平成28年度ゲストスピーカー（特別講師）について（資料9）【回収資料】

委員長から、資料9に基づき、今回申請分（整理番号8、9）について、各部局の経費負担（謝金及び交通費の支払い）により実施を希望するもので、申請にあたり各部局担当者が授業実施部局の長に提出し承認を得たものとなっている旨の説明があり、審議の結果、承認された。

なお、ゲストスピーカーを活用する時間は、原則として1授業科目について当該授業の総時間数の4分の1以内の時間（15回中3回以内）である旨、併せて留意の説明があった。

●その他配付資料

カリキュラム委員会委員名簿（資料1）

カリキュラム委員会（第3回）議事要旨（資料2）

次回開催：平成28年12月16日（金） 15：00～（予定）